

CLINIC
ばんぼう

開業医をサポートする総合情報誌

BAMBOO

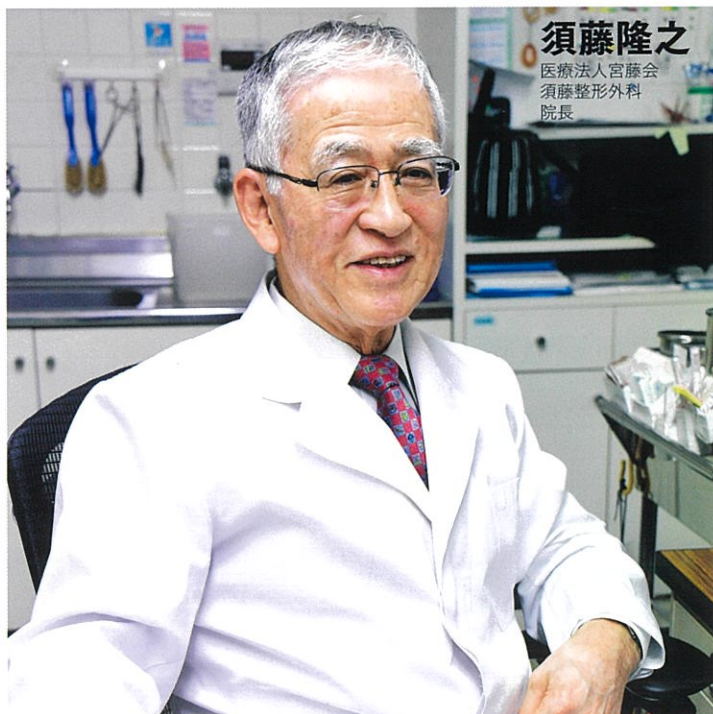
June

2019.6

Vol.459

[特集] 診療所の働き方改革

現場を変える 10提案



須藤隆之
医療法人宮藤会
須藤整形外科
院長



中川原讓二
大阪なんばクリニック
院長



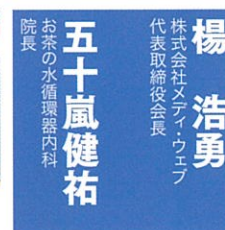
渋井庸子
よつ子レディースクリニック
院長



寺田俊昌
一般社団法人船橋市医師会
会長



五十嵐健祐
お茶の水循環器内科
院長



楊 浩勇
株式会社メティウェブ
代表取締役会長



セミナー 管理栄養士と開業医がコラボする会

栄養食事指導の治療効果と 管理栄養士雇用の有意性を 開業医に向けて発信

医療法人松若医院の松若良介院長と、管理栄養士で大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科の井尻吉信教授が発起人を務める、「管理栄養士と開業医がコラボする会」のキックオフセミナーが4月6日、大阪市内で開催された。当日は、関西エリアの開業医、管理栄養士ら約50人が参加した。

井尻氏は、約11年前から大学勤務の傍ら、松若医院で非常勤の管理栄養士として患者の栄養食事指導や地域住民向けの健康増進イベントの企画・運営を担ってきた。ただ、治療の一環としての栄養食

事指導への患者ニーズがあるにもかかわらず、多くの無床診療所では人件費の問題などで管理栄養士の雇用が進んでいないのが現状だ。そこで両氏は、患者の食生活を見直して治療効果を高めるためにも、管理栄養士の存在意義を開業医に向けて広く発信する必要があると考え、同会発足の運びとなった。

当日は、実際に管理栄養士を雇用している3診療所の院長らが事例を紹介。管理栄養士を、栄養管理業務だけでなく受付や診療補助等の他の業務と兼任するといった雇用形態の具体例や、経営面でのメリットについてが語られた。

松若氏は、「双方が『WIN-WIN』の関係構築できる仕組みを、皆で考えていきたい」と力強く述べた。



ムーブメントを起こすべく開業医、管理栄養士ら50人が集結した